

# 第12回 災害対策本部員会議の概要

日時 令和元年10月25日（金）

9時00分から9時15分まで

場所 県庁3F 第一応接室

災害対策本部総務班

9時00分開会

## 【西島防災危機管理監】

- 対応状況を報告。

（資料を基に説明）

## 【盛岡地方气象台】

- 今後の天候について

本日、日本南岸から北上してくる低気圧の影響で今日昼過ぎ12時前後から県内雨となり、今夜18時以降から沿岸部を中心に雨脚が強まっていくと予想している。

沿岸部を中心に雷を伴い1時間で40ミリの激しい雨のところがあるとみられており、土砂災害、河川の増水、氾濫及び低い土地の浸水に警戒が必要である。特に台風第19号で被災されている箇所は嚴重に警戒が必要と思われる。

明日朝6時までに予想される雨の量は、沿岸部では150ミリで、通常であれば警報になるかどうかというところだが、台風第19号影響を考慮した形で十分な警戒が必要と判断する。

## 【西島防災危機管理監】

- 今後の会議について報告。

今後は週2回の災害対策本部員会議と書面報告の週3回を考えている。

次回の本部員会議は、28日（月）議会終了後1時間後から、30日（水）9時から、そして11月2日（土）書面報告とする。

次の週は11月5日（火）9時から、8日（金）9時からを予定している。

- 主要な課題への対応状況と今後の予定について

（資料を基に説明）

生活再建に係る罹災証明について、資料では4市町村で交付開始としているが、会議直前の報告により18市町村が罹災証明書の交付を開始している。内陸はもとより、沿岸部でも久慈市、野田村、山田町、大船渡市及び陸前高田市で交付を開始している。

## 【各本部員等】

### ○ 各部局及び関係機関の対応状況等について報告。

#### ・政策地域部長

一昨日23日、知事に省庁への要望に対応いただいている。

人的支援について、山田町への土木職2名の派遣を調整済み。今後もしっかり対応できるよう調整していく。

#### ・環境生活部長

水道施設について、昨日までの状況として仮設配管の工事は終了したとの報告があった。本日から通水作業に入り、漏水等調査の上、順次断水が解消される見込み。ただし、漏水箇所がどの程度あるか不明なため、時期については明示できない状況である。

#### ・保健福祉部長

医療費の窓口負担の免除について、対象となる市町村が順次拡大している。前回報告から宮古市、大船渡市、普代村、野田村が追加されているが、今後も被災した沿岸市町村は順次拡大していく予定である。

#### ・商工労働観光部長

商工関係の企業等の被害状況について、前回報告から合計件数で13件増えて、3千600万円ほど被害額が増加した。

職業訓練施設について、訓練機器が浸水により再購入等、最大で2千100万円ほどかかる見込み。

#### ・農林水産部長

被害額について、農林水産業全体で69億7千万円余となっており、前回報告から21億円ほどの増加となっている。

農業関係は、リンゴ等一部品目を除いてはある程度調査については山を越えた。全体で11億円3千万円余の被害金額となっている。

林業関係は、ハード面の被害となるが、現地までたどり着けていないところも多い。目視等により被害があったことは確認しているが、詳細についてはこれからの調査となる。被害金額は前回報告から15億円増加し、42億1千万円余となっている。

水産産関係は、ハード施設の算定と養殖施設の被害状況の詳細の把握はまだであるが、全体としては16億2千万円余の被害となっている。

甚大な被害であるので、現在調整中ではあるが、来週中には農林水産省へ要望予定。

#### ・県土整備部長

道路関係では全面通行止めについて、前回報告1路線減の8路線、2箇所減の9箇所となっている。

土砂災害関係は、釜石市で現地精査の結果、土石流が前回から1箇所減の24箇所、がけ崩れが前回から1箇所増の3箇所となっている。宮古市で土石流2箇所増の21箇所、がけ崩れ2箇所増の6箇所となっている。

下水道関係について、山田町の前須賀ポンプ場で簡易処理を実施中である。

被災市町村への支援について、田野畑村からの要請により10月24日に3名の被災宅地危険度判定士を派遣し9宅地の調査を実施した。

公共土木施設被害状況については変更なし。

・教育長

宮古恵風支援学校は、昨日からの再開している。

子供たちへの心のサポート体制に対しても万全を期して対応している。

県教委から、指導主事を宮古教育事務所へ1名、10月17日から応援で配置している。

【警察本部長】

特別自動車警ら部隊について、第一次派遣部隊2台のパトカーと8名で25日まで対応。第二次派遣としてパトカー1台と4名を本日から11月3日まで福島県へ派遣する。

【総務部長】

○ 対応方針を報告。

(資料を基に説明)

【本部長（達増知事）】

陸上自衛隊、盛岡気象台の方々に御出席いただき、感謝申し上げます。

一昨日、国への要望を行い先程の報告のとおりであるが、市町村長も何人か同行でき、現場の状況を直接伝えることができたと思う。

東日本大震災からの復興の途上での台風第19号災害ということで、東日本大震災復興並みの支援をお願いすることが基本であった。

防災担当武田大臣は、現場の生の声を聴き、感じる場所があったようだ。

内閣、防災、総務省、農水省及び国交省に対し、こちらから伝えたいことは伝えることができたと思う。

今日の夜から明日初めにかけて大雨ということで、警戒して参りましょう。

土砂災害、河川の増水への十分な警戒と、関係機関への連絡、住民への情報伝達手段の確保などの事前の備えが重要である。

引き続き、被災市町村と応急・復旧、生活支援にあたる防災関係機関が連携を密にしてしっかり安全の確保と警戒対応をよろしく願います。

9時15分閉会

※ 第13回本部員会議は10/28（月）議会終了1時間後から開催予定